

EUSI メールマガジン Vol. 017 「ユストゥス・リプシウス」(山内進)

EUSI (EU Studies Institute in Tokyo)は、一橋大学・慶應義塾大学・津田塾大学の3校のコンソーシアムによるEUに関する教育・研究・広報を行う拠点です(詳しくは以下をご覧ください)
http://eusi.jp/content_jp/aboutus/about_eusi/

【EUSI Commentary Vol. 012】

「ユストゥス・リプシウス」

山内進 (一橋大学長、EUSI 元 Advisory Board)

ベルギーの首都ブリュッセルには、EUの中心的機関が多数ある。欧州委員会や欧州議会、欧州連合理事会(閣僚理事会)の建物がある地区はEU地区と呼ばれるほどである。そのEU地区になかにも欧州連合理事会のモダンな建物がある。この建物は1995年に竣工しているが、拡大するEUの機運のなかにあつてか、かなり広大で、EUの殷賑ぶりをよく示している。

さて、この建物には名前がついている。「ユストゥス・リプシウス・ビルディング」という。ユストゥス・リプシウスというのは人名で、建物のこの名称は、前の通りが「ユストゥス・リプシウス通り」とされていたことに由来する。欧州連合理事会が以前に入っていた建物の名は「シャルルマーニュ」だった。「シャルルマーニュ」はフランク帝国の創始者カール大帝のことであろうから、いかに通りの名前に由来するとはいえ、ユストゥス・リプシウスもそれ相応の人物であろうことは推察される。とはいえ、そんな名前は聞いたことがない。何者だろう。そう思う人も多いのではないだろうか。

リプシウス(1547-1606年)はベルギーのルーヴェン近郊の町に生まれ、ルーヴェン大学で学び、後にレイデン大学等の教授として活躍した偉大な古典学者で、エラスムスの次世代の代表的人文主義者である。エラスムスがオランダの全ヨーロッパ的知性とするなら、リプシウスはベルギーの全ヨーロッパ的学識である。ベルギーの誇る知的巨人であり、その意味で、ユストゥス・リプシウスは、ベルギーにとっても、ヨーロッパの統合を目指すEUにとっても、欧州連合理事会が拠点とする建物の名にふさわしい、といえる。

私は、日本ではほとんど名前を知られていないこの人物について、近世ヨーロッパではきわめて著名な人物であった、ということをEUについて語る場合の基礎知識として次に簡単に紹介しておきたい。

...

(続きはこちら↓)

<http://www.hit-u.ac.jp/kenkyu/eusi/eusicommentary/vol12.pdf>

【EUSI イベントご案内】

1. 講演会「欧州における共通評価枠組(CAF)について」

講演者: マルガ・プレール教授 (欧州公共行政研究所 所長)

司会: 川崎恭治 (EUSI 所長・一橋大学法学研究科教授)

日時: 2013年1月17日(木) 14:40-16:10
会場: 一橋大学 国立東キャンパス マーキュリータワー5階 3503
使用言語: 英語
参加自由、無料
http://eusi.jp/content_jp/outreach/seminar/20130117_lecture.html

2. EUSI-NECA 国際シンポジウム

「スマートコミュニティの展望と制御システム安全に関する日欧戦略的共同」

日時: 2013年2月14日(木) 13:00-17:30 (受付 12:30-)
会場: 津田ホール
言語: 日本語及び英語 (同時通訳付)
参加費: 無料

「Smart cities and communities - recent EU policy initiatives」
Uli Wienrich (駐日欧州連合代表部通商部一等書記官)
「ABB's approach to Smart Grid and successful Smart Grid City Project in Europe」
Claudio Marchetti (Global Solutions Manager Smart Grid, ABB AB)
「IEC and International Standardization related to Smart Grid」
Claudio Marchetti (Swedish Member of IEC SG3 (Smart Grid))
「Smart Grid and Electromobility - Smart, but safe?」
Michael Teigeler (DKE German Commission for Electrical Electronic & IT, DIN/VDE)
「経済産業省におけるスマート・コミュニティ政策全般(海外・国内を含め)」(仮題)
経済産業省
「新エネルギー時代における新たな視点での電気安全や制御盤安全の重要性」
鶴岡正敏 (オムロン株式会社 IAB 企画室主幹)
パネルディスカッション (司会: EUSI)

http://eusi.jp/content_jp/outreach/seminar/20130214_symposium.html
<http://www.neca.or.jp/symposium/2013/tokyo.html>

【EUSI 所属研究者による記事・執筆情報紹介】

林秀毅 (EUSI 主任研究員・日本経済研究センター特任研究員)
「2013年の欧州政治・危機対応・市場動向--長期金利とユーロへの示唆」
『欧州債務危機レポート』(日本経済研究センター)2013年1月11日
<http://www.jcer.or.jp/column/hayashi/index130111.html>

「4つの柱」・年明けに向けた展開--キーワードは「財政対応力」
『欧州債務危機レポート』(日本経済研究センター)2012年12月12日
<http://www.jcer.or.jp/column/hayashi/index121212.html>

【EUに関するニュース】

2012年12月2日 アシュトン EU 上級代表、イスラエル政府のヨルダン川西岸地区入植地拡大声明に対し懸念
2012年12月3日 アシュトン EU 上級代表、北朝鮮「人工衛星」発射計画に対して強い懸念を表明
2012年12月3日 ユーログループ財務相会合、ブリュッセルで開催。キプロス財政健全化措置などを協議
2012年12月3日 Eurostat、EU27 カ国貧困人口は1.2億人(24.2%)。2010年(23.4%)・08年(23.5%)以上で過去最高
2012年12月3日 EU ノーベル平和賞授賞式参加の絵画・エッセイコンテスト受賞者発表。5397名応募中4名

- 選出
- 2012年12月3日 欧州委員会、国際障害者デーに際し公的機関 HP アクセシビリティの域内標準化・義務化を提案
- 2012年12月4日 EU 経済・財務相理事会、ECB 銀行監督権限強化やギリシャ財政健全化2年延長などを協議
- 2012年12月4日 EU 加盟国、欧州空域の効率化計画期限。欧州委員会、期限未達成の加盟国に対し違反警告
- 2012年12月4日 欧州委員会、EU 域内運航禁止・制限対象「EU 航空安全性リスト」を更新。今回で20回目の発表
- 2012年12月5日 ファン＝ロンパイ、バローゾ、ユンカー、ドラギ、「真の経済通貨同盟に向けて」報告書を提出
- 2012年12月5日 第4回 EU・米国エネルギー会議、ブリュッセルで開催。エネルギー効率化規制枠組など協議
- 2012年12月5日 アシュトン EU 上級代表、エジプトにおける大統領・与党と反大統領デモの衝突を憂慮する声明
- 2012年12月5日 欧州委員会、TV・PC 用ブラウン管メーカーの20年間のカルテルに対し14.7億ユーロ制裁金を決定
- 2012年12月5日 欧州委員会、若年者の雇用促進のための「若年者保障」制度導入などの雇用対策を提示
- 2012年12月5日 マルムストロム内務担当欧州委員、「子供に対するネット上の性的虐待と闘う世界同盟」発足
- 2012年12月6日 EU、日米と共に、アルゼンチンの輸入規制に関し WTO 紛争処理小委員会の設置を要請
- 2012年12月7日 欧州委員会、短中期のスキル需要・供給のミスマッチ解消のため、EU スキル・パノラマを始動
- 2012年12月7日 駐日 EU 代表部、第1回ビデオ・アート・シリーズ上映会開催。以後2013年6月まで6回開催予定
- 2012年12月10日 EU、ノーベル平和賞受賞。バローゾ委員長らと共に20カ国首脳参加。英・キプロスらは欠席
- 2012年12月10日 EU 外務理事会、ブリュッセルで開催。シリア、対ウクライナ関係、北朝鮮ミサイル実験など協議
- 2012年12月10日 スペイン駐イエメン大使館、EU 駐同国代表部内に開設。EU と加盟国の共通対外行動の取組の一環
- 2012年12月11日 欧州議会、中南米8カ国との貿易自由化のための協定を承認。関税削減・技術障壁撤廃など
- 2012年12月11日 欧州委員会地球観測計画、「コペルニクス(Copernicus)」と命名
- 2012年12月11日 欧州議会、EU 統一特許に関する法律(統一特許・言語制度・統一特許裁判所)を採択
- 2012年12月12日 欧州議会、2013年度予算案と2012年度追加歳出案を承認
- 2012年12月12日 アシュトン EU 上級代表、北朝鮮「人工衛星」発射に対し非難声明。追加制裁含めた措置を検討
- 2012年12月12日 欧州委員会、持続可能で現代的な会社法と企業統治の法体系構築の基礎となる行動計画を採択
- 2012年12月12日 欧州委員会、事業破産に対して国境を越えた近代的な対応を提案
- 2012年12月12日 欧州議会、EU 加盟国11カ国が進めている金融取引税導入計画を承認
- 2012年12月13日 EU 経済・財務理事会、ECB への銀行監督権限付与と欧州銀行監督機構規則改正に関する見解合意
- 2012年12月13日 ユーログループ財務相会合、ギリシャの第2次経済調整計画に基づく2回目の融資を正式に承認
- 2012年12月13日 欧州委員会、アップル社など大手出版社4社による電子書籍販売の自由競争に関する誓約を承認
- 2012年12月13日 駐日 EU 代表部、日・EU 関係とエラスムス・ムンドゥスに関する説明会を開催
- 2012年12月13-14日 欧州理事会、経済通貨同盟に向けた行程表や共通安保防衛政策(CSDP)発展の作業開始等で合意
- 2012年12月14日 アシュトン EU 上級代表、チベットでの中国支配に対する抗議殉死に関する遺憾の声明

【編集後記】

今回は新年特別号として、巻頭エッセイを山内進一橋大学長にお願いしました。ユストゥス・リプシウスという人名は、日本では馴染みがありませんが、エッセイを読み進んで頂くと、著名な画家ルーベンスとの関係なども紹介されます。さらに最後の部分では、欧州統合の発展が、第二次大戦後にとどまらず、数百年という長い歴史の基盤の上に築かれていることに着付けられます。

(林 秀毅・EUSI・一橋大学・EUSI メールマガジン編集担当)

すこし遅くなってしまいましたが、明けましておめでとうございます。
2013年最初のEUSIメールマガジンをお送りします。今年は7月にクロアチアのEU加盟(28カ国目)、またイタリア(2月)とドイツ(秋)で総選挙が行われる予定です。またチェコ(1月)とキプロス(2月)では大統領選挙が予定されています。またマーストリヒト条約が発効(1993年11月1日)され、EUとしてスタートしてから今年で20周年にあたり、関連する行事なども出てくるかと思えます。今年も財政健全化に向けた様々な改革が進行中で、これに関する動きがどのように進んでゆくか、またEPA交渉をはじめとした日・EU関係がどのように発展してゆくのか、本メールマガジンを通じて様々な情報を提供することができればと願っております。本年もどうかよろしくお願ひ申し上げます。

(林 大輔・EUSI 慶應分室・EUSI メールマガジン編集担当)

EUSI (EU Studies Institute) in Tokyo
〒186-8601 東京都国立市中 2-1
一橋大学 マーキュリータワー#3504 EUSI 事務局
TEL: 042-580-9117 / E-mail: info@eusi.jp

ご意見、ご感想、配信登録・配信停止、その他メールマガジンについての
問い合わせにつきましてはこちら
E-mail: info@eusi.jp
